

平成18年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行っていくのか、具体的に記載してください。

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・公共性の強い施設であるだけに、常にコンプライアンスを最重視する一方、メンテナンスについても迅速、かつ、効率よく取組みます。
- ・施設の利用は、公正・公平性を常に心掛けます。

イ 効率的な運営への取組について

- ・限られた要員と公的資金での運営に、あらゆる面で効率性が何よりも必要と考え、省資源はもとより、経費面でも用途目的のチェックや、費用削減について、常に努力していく。

ウ 苦情受付体制について

- ・受付窓口、担当者等の情報を常時掲示する。
- ・作成した「苦情相談対応マニュアル」に基づき、心構えから発生時の対応、報告記録等の事後処理まで職員に徹底していく。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・AEDが設置され、殆んど職員はAEDの取り扱い講習を受講済みです。
- ・夜間はセキュリティシステムが稼動しています。
- ・緊急連絡網を定期的に更新し、活用出来るようにしていく。
- ・横浜市応急備蓄整備事業に対応して、備蓄品を整備し、保管しています。

オ 事故防止への取組について

- ・事故防止に対しては、全職員が真剣に取り組んでいきます。
- ・「事故等緊急時の対応マニュアル」が作成済みであるので、全職員が発生時の対応等に精通していきます。

カ 情報公開への取組について

- ・「開かれた施設」基本姿勢としているので、各種情報面でも同様に常にオープンを原則としていく。
- ・施設の広報誌等に、個人情報保護に反しない限りの情報公開をして、広く施設の運営状況を理解してもらうよう努力する。
- ・施設のホームページをオープンしてありますが、最新のデータに更新する。

キ 環境等への配慮及び取組について

- ・施設内外の環境整備には特に配慮し、いわゆるエコロジー面では経費節約のための省エネを、施設の緑化に対しては春・秋に植栽剪定を行い、花壇の植物を保持していきます。
- ・全館禁煙です。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

- ・現時点では欠員なく充足していますが、欠員が生じた場合は、募集雑誌・知人等を総動員して一日も早い充足を心掛けます。
- ・常勤職員及び非常勤職員が働き甲斐のある職場としての勤務体制にしていきます。
- ・職員は利用者に対して質の高いサービス提供に努力します。

イ 職員の研修計画について

- ・新任職員については、即戦力となるようOJTにより職員全員が指導に当たります。
- ・職員には、計画的に法人及び施設内の定期研修のほか、外部の各研修会に職種毎に積極的に参加させて、専門的な技術・技能・資格を取得する。

ウ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・職員全員は、指定管理者制度の施設であることを認知して、個人情報保護について研修し、その趣旨に基づいて行動を徹底していく。
- ・個人ファイル等はすべて書庫に施錠して管理し、不要書類は必ずシュレッダーを使用する。

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携について

- ・区のサービス課を始め、居介支や包括支援センター事業所等の高齢者関係との連携は、良好な状態であるが、更なる強化を図ります。
- ・障害者関係機関との連携も幅広く行います。

イ 地域団体との連携について

- ・地域あつてのプラザであり、地域団体との連携は特に重視していく。
- ・町内会役員や民生委員等には、日頃より地域のニーズや課題を提供していただくほか、多くの問題ケースに共同して対応していくためにも連携を強化します。

● 地域活動・交流事業

ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回開催日 6月6日(火) 14:00～15:00

議題・平成17年度事業報告

・平成17年度地域支えあい連絡会活動報告

・平成18年度事業計画

第2回開催予定日 11月21日 14:00～

議題・平成18年度上半期事業報告 他

エ ボランティア育成について

- ・昨年実施した「保育ボランティア講座」・「傾聴講座」修了者の活動支援をする。
- ・貸館利用団体のボランティア活動支援・コーディネートを行う。
- ・地域、またはケアプラザで活動しているボランティアへのスキルアップ講座の開催
- ・地域防犯ボランティアのために警察署・消防署・区役所と地域内小学校と連携し、情報の共有、講座・教室・交流会などを開催する。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

- ・現在の稼働率(平均60%)だが、絶えず貸室利用団体が何処かの部屋を利用している状態です。
- ・休日の利用状況が平均稼働率を下けているが、現時点では、夜間の利用を促進させるけれど、今以上に昼間の利用促進策を推し進めない。
(理由)当プラザの立地が地域の外れにありますので、プラザ本来の目的である第一地区・第四地区の地域住民の活動拠点としての貸室の機能には課題があり、今以上の稼働率にしてしまうと、地域住民が利用したいときに対応が出来ない。

カ 地域活動・交流部門における自主事業の事業展開について

- ・地域住民誰でもが、元気でいきいきと暮らしていけるような自主事業を企画・運営または地域住民と一緒に考えて、形にしていく事業を展開予定します。
- ・特に、今年度は、子育て支援・障がい者支援の柱となるような自主事業を確立し、地域と共に歩んでいくプラザを目指します。
- ・また、若い子どもが被害者となる事件が多発している中、「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、昨年に引続き地域の防犯に共に取り組みます。

● 地域包括支援センター事業

キ 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

- ・地域に出向く機会（主に町内会・ふれあい会・老人会・地域社協などで開催される食事会やお茶会、出前健康講座）
- ・ケアプラザ内での行事（ミニディ・体操教室）

などを利用し、折りにふれ周知する。

またその際、パンフレットやパワーポイントなどの媒体を使用し周知を図る。

ク 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- ・上述の地域に出向く機会に、基本健康検査の利用・受診を推奨する。そして、受診結果をアセスメントする。また、検診以外にも、健康チェックシートなどを利用し、それらを介護予防支援事業へとつなげる。
- ・健康増進や生活習慣の見直しの工夫点などの健康教育を実施する。
- ・地域の方々が、介護予防を意識した生活を送れるような啓発講座なども企画・実施する。

ケ 介護予防ケアマネジメント事業

□ 介護予防ケアマネジメントの実施目標について

平成18年度は、該当者をもれなく把握し、ケアマネジメントの実施を行う。介護保険法の基本理念である「自立支援」の観点から、要支援・要介護状態になる前からの一貫性・連続性のあるマネジメントを行い、予防重視型システムの確立をはかる。その結果、地域全体の健康維持・増進をねらう。

□ 担当地域の現状（平成18年3月現在：宮崎エリア）

- 高齢者数 65歳以上 3527人
（前期高齢者65～75 1808人 後期高齢者75～ 1719人）
- 特定高齢者数（推計） $3527人 \times 5\% = 176人$
- その他、地区の現状
 - ・地理的条件として山坂が多く、階段も多い。
 - ・バス便が少なく、足の便が悪い。

その結果・・・(利点) 自然と下肢筋力アップにつながっている
(欠点) 閉じこもりになる可能性を高めている

□ 特定高齢者の候補者数を把握するための方法、手段について
(高齢者の食事会等、民生委員との連絡会など)

- ・担当地域で行われているサロン・食事会やケアプラザでのミニディ
- ・体操教室などの地域での自主活動に出向く
- ・民生委員等による連絡
- ・個別訪問活動を通しての把握

□ 平成18年度特定高齢者を把握するためのルートの構築について

- ・広報誌に介護予防の取り組み状況を掲載する。
- ・出前講座や自主事業の中で、介護予防の紹介を行う。
- ・その他、下記の機会を利用し、特定高齢者を把握する。
訪問活動等
関係機関(主治医・民生委員等)からの情報
本人・家族・地域住民からの情報
要介護認定非該当者等の情報

コ 総合相談・支援事業

(地域の高齢者の実態把握、介護以外の生活支援サービスとの調整等)

- ・地域に開かれた窓口として、地域包括支援センターの職員ができるだけ、いつでも対応できるような勤務体制をとる。
- ・独居(日中独居含む)の高齢者や介護認定を受けているがサービスを利用していない方、地域との関係が希薄な高齢者などを対象として、訪問を適宜行い、実態把握につとめる。

サ 権利擁護事業(現状・被保険者への虐待防止・早期発見等)

□ 早期発見・虐待防止に向けての工夫等

(ネットワーク構築、認知症高齢者世帯への支援、介護者支援など)

区役所やケアマネジャー・民生委員などの地域保健福祉関係者と連携し、認知症高齢者宅への訪問を行い、家族がいる場合は、困ったときの相談窓口としてケアプラザを利用してもらえるようアピールするとともに、必要に応じて認知症状への対応について助言を行う。また、介護者会を情報提供する。身寄りのない場合は、それまでの消費者被害の状況に留意し、今後被害に合わないよう助言するとともに、権利擁護に関する制度を情報提供し、必要に応じて利用をすすめる。

また、認知症以外の高齢者においても、虐待や消費者被害をうける可能性が高いと思われる方について、ケアマネジャーや民生委員より情報提供してもらえるように様々な機会をとらえ広報する。

シ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
 (支援困難事例に関するケアマネジャーへの助言、地域のケアマネジャー相互のネットワークづくり等)

サービス担当者会議やケア・カンファレンスの開催支援及びスーパーバイズを行う。困難事例に悩むケアマネへの助言や支援を行う。また、同行訪問や関係機関との連絡調整も必要に応じて実施する。

- ・地域のサービスマップ・関係機関連帯マップの作成
- ・西区ケアマネ研究会との連携や後方支援
- ・新人ケアマネ・就労予定ケアマネに対する研修や実習等の実施など

ス 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

市民自ら積極的に介護予防に取り込むための啓発活動を推進し、共通の調査項目・基準による対象者の選定を行う。その後、個別性に応じた介護予防マネジメント・ケアプラン作成や科学的な根拠に基づくサービス（介護予防事業・地域支援事業）の提供へとつなげる。また、定期的に事業効果の評価を行い、有効にサービスが提供されているか検証を行う。

《月別利用者見込み》

18年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見込数	10	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200	220	1,330

【単位：人】

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 生活指導（相談援助）
- 機能訓練（日常生活動作）
- 介護サービス（食事、排泄、移動等の見守り、介助、レクリエーション）
- 健康状態の確認
- 送迎、給食、入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （経過的要介護） 645 円
 - （要介護1） 718 円
 - （要介護2） 837 円
 - （要介護3） 955 円
 - （要介護4） 1,074 円
 - （要介護5） 1,193 円
- 入浴負担 53 円
- 食事負担 500 円

《事業実施日数》 週 7 日 [年末年始（12/29～1/3）を除き年中無休]

《提供時間》 9:50 ～ 16:10

《職員体制》 管理者 1名（常勤兼務）
 生活相談員 4名（常勤専従2名、常勤兼務2名）
 看護職員 3名（常勤専従0名）
 介護職員 21名（常勤専従2名、常勤兼務2名）

《目標》 日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ自立した日常生活ができるようサービスを提供する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①音楽療法、健康体操・・・年3回専門の先生を招いて行っています。
- ②利用者アンケート調査の実施・・・年2回 6・12月に行っています。
- ③17年度よりサービス提供時間を1時間20分延長し、午後のおやつ、歌を取り入れています。
- ④毎食前、口腔機能体操を取り入れています。また、食後の義歯洗い、口すすぎを奨励し、口腔清潔の啓発を行っています。

《利用者見込み(延べ人数)》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見込数	840	868	810	775	744	690	682	630	588	588	588	651	8,454

【単位：人】

● 介護予防通所介護

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成
- サービス計画に基づいた機能訓練体操
- レクリエーション
- 健康状態の確認
- 給食
- 送迎、入浴（希望の時）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 2,360 円（月額）
 - （要支援2） 4,614 円（月額）
- アクティビティ 86 円（月額）
- 食事負担 500 円／回

《事業実施日数》週 7 日 [年末年始（12／29～1／3）を除いて年中無休です]

《提供時間》 9：50 ～ 16：10

《職員体制》 通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

《目標》 個別のサービス計画書にそった機能訓練体操をアクティビティの中で提供し、楽しく生き生きと過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ自立支援をサポートする。

《その他（特徴的な取組、PR等）》 通所介護の①②④と同じ

《利用者見込み(契約者数)》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見込数	0	0	1	3	7	10	15	20	25	30	35	40	186

【単位：人】

● 居宅介護支援事業

- ・ 利用者の希望を聞きながら、介護度に応じてケアプラン(介護計画)を作成します。
- ・ また、サービス事業者等との連絡調整を図ります。
- ・ ケアプラン作成後も、利用者・家族の皆様と連絡をとり、相談しながら必要なサービスを提供できるように支援します。

《利用者見込み》

【単位：人】

18年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見込数	31	32	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	412

● その他

セ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

- ・ 住民に対して広く「宮崎地域ケアプラザ」を認知してもらうよう広報、催し等で宣伝する。
- ・ 住民に対して地域福祉保健の拠点として、役に立つ施設・頼りがいのある施設になるよう、プラザの職員が力を発揮する。

ソ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

- ・ 毎月、定期的に職員会議を開き、部門の情報交換を行い、情報を共有している。
- ・ また、個別に関係部門がお互いに協力して、問題解決するよう努力している。

<以上>

平成18年度自主事業計画書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・ 定期事業 (地域活動交流)

NO. 1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援事業 ミニデイ 「いきいきサロン 宮崎」	65歳以上の一人暮らし、75歳以上の高齢者夫婦世帯の方で自力で会場まで来られる方を対象にした、見守り・交流の場を目的とした会食会。	毎月第2・3水曜日 11:00~14:00

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援事業 わくわく親子プラザ	未就園の乳幼児の親子を対象。子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。	毎月第1月曜日 10:30~12:00

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援事業 みやぎキッズ (新規)	未就学の乳幼児の親子を対象にしたフリースペース。公園などの遊び場の減少・遊び場の安全などの地域の課題を踏まえての開催。また毎回、お楽しみタイムを設けCPとのコミュニケーションを図る。	毎月 第1月曜日 13:00~17:00 第3木曜日 13:30~17:00

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい者支援事業 手話教室または パソコン講座 (新規)	手話、またはパソコン講座を通して障がい者とのコミュニケーションを図る場。また地域の方への啓発・あるいは新しい担い手の発掘の場。	月2回(曜日未定) 時間未定 11月より開始予定

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい者支援事業 ティーサロン (新規)	障がい者(種別なし)と地域の方の交流の場であり、地域の拠点として様々な方が集う場の提供。 開催内容：西区の障がい者作業所に協力をしていただき、開催する。	週1回(曜日未定) 時間未定 H19/1月開始予定

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域支援事業 まもり隊事務局	目的：平成16年度地域支えあい連絡会にて地域の声があがり、平成17年度4月より活動を開始した、子どもの見守り・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動内容：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支えあい連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政(警察・消防署・区)との連絡調整、また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	見守り・防犯活動は町内会単位ではほぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校分毎月発行。

横浜市宮崎地域ケアプラザ

・単発事業（共催事業含む）（地域活動交流）

NO. 2

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4月			
5月	男性のための料理教室 (5月～6月・全3回)	目的：男性の集まる場を提供し、仲間作りのきっかけとする。 内容：基本的な栄養や調理について学んでもらう。OB会Boy'sキッチンワーカーズの料理を通してのボランティア活動を紹介。 協力：Boy'sキッチンワーカーズ	5月29日(月) 6月13日(火) 6月19日(月) 10:00～13:00
7月	①地域コミュニケーション講座	目的：地域のボランティア(民生児童委員・ふれあい会・各地区社協・個人など)を対象の講座と全くCPを知らない方にCPを知っていただくための企画、運営。地域住民が望んでいる講座、教室を地域と協働で開催する。 内容：7月は全くCPを利用したことのない地域住民向けに地域交流会食会(「CPって何?」講座開催)と近隣の施設を利用した歌舞伎鑑賞。	7月27日(木) 12:00～17:00
	中学生のボランティア講座 (7月～8月・全5回)	目的：中学生のボランティア活動スタートのきっかけづくり、また地域の新しい担い手としての発掘の場。 内容：1～3回目は高齢者・障がい者・子育て支援/CPの役割を学ぶ。4回目は各関係機関に協力頂きボランティア体験。5回目は活動報告・交流会。	7月26日(水) 7月28日(金) 7月29日(土) 10:30～12:30 8月1日～12日 のうちの1日体験 8月21日(月)
	①障がい者啓発講座	目的：障がいのある方自身の「地域の中には障がいのある人も一緒に暮らしていることを知ってもらいたい」「地域の中で私たちにできることはないのか」との声から昨年度、単発事業を開催。今年度は不定期ではあるが何度か、地域住民の方との交流を主とした会を開催。 内容：1回目は地域に住む中学生との交流・啓発を予定。	開催日時未定 7月は中学生ボランティア講座に組入る 7月29日(土) 10:30～12:30
8月	①障がい児余暇支援活動	区社協との共催。 障がい児家庭の長い休み期間の支援。	7月29日(土) 8月3日(木) 8月4日(金) 8月23日(水)
9月			
10月	①第7回宮崎まつり	目的：テーマ「赤ちゃんから高齢者まで誰もが、健康で自立した暮らしを続けていける、元気でいきいきとしたまちづくりの拠点として当CPを気軽に利用していただく」ための地域住民の交流の場や地区社協と共催することで繋がりを深めていく。また、CPを知っていただく。	14日(土) 11:00～14:00

11月	①お父さんのわくわく親子プラザ	目的：未就園児の父子を対象にした、親子のコミュニケーション方法を学ぶ。 内容：体を動かすコミュニケーション（親子体操・リズム遊び・手遊び）を中心に学ぶ。	祝日または土曜 10:30~12:30
	②地域コミュニケーション講座	目的：上記掲載 内容：地域の子育て支援担い手の方からの要望。スキルアップ講座「読み聞かせ」全3回を検討中。	未定
12月	②障がい者啓発講座	目的：上記記載 内容：未定	未定 土曜の午後
1月	①異世代交流サロン	目的：地域の高齢者（65歳以上）と幼稚園児のふれあい交流会。顔見知りになるきっかけづくり。	水曜以外の平日 11:30~13:30
2月	①貸館利用者交流会	目的：日頃の練習成果を披露していただくと共に、地域や当CPでのボランティア活動への啓発や貸館利用者同士の情報交換の場。地域との交流の場。	土・日または祝日 13:00~16:00
	③障がい者啓発講座	目的：上記記載 内容：未定	未定 土曜の午後
3月	①ボランティア交流会	目的：日頃のボランティア活動に感謝の意を職員一同表すと共に、CPの各事業での様々なボランティア活動があることの紹介やボランティア同士の情報交換の場、地域とボランティアのコーディネート場。	平日 13:30~15:30

・定期事業(地域包括支援センター)

NO. 4

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	毎月、介護者の茶話会を開催したり、介護に関心がある方(地域の方、民生委員、ケアマネなど)を対象に保健、福祉、医療関係の公開講座を実施。 [介護者のつどい]の会報を隔月に発行	毎月7日に開催(5月を除く)

・単発事業(地域包括支援センター)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
転倒骨折予防体操OB教室	月4回(第二・第四月曜/第一・第三火曜)西区シルバー体操指導員の協力のもとで、転骨基本教室の卒業生を中心メンバーとした体操の実施	月4回、年47回(8月は盆休みあり)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域体操リーダー養成講座	転倒骨折予防体操基本教室の卒業生等を継続的に指導するボランティア・リーダーを養成	月8回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張健康教室	地域で行われている「ふれあい会」や[体操教室]等の場に出向き、介護予防や健康増進のミニ講座を開く	適当な時期(大体月2~3回)

平成18年度 自主事業収支計画書

(地域活動交流)

NO. 1

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者支援事業 いきいきサロン宮崎	70歳以上の一人暮らし・日中独居 75歳以上の高齢者世帯 各30名ずつ 450円	508,000	150,000	358,000	30,000	458,000	20,000
子育て支援事業 親子わくわくプラザ	未就園親子 なし 原則なし 内容により徴収	70,000	60,000	10,000	20,000	20,000	30,000
子育て支援事業 みやぎキッズ	未就学親子 なし なし	10,000	10,000	0	0	5,000	5,000
障がい者支援事業 手話またはパソコン教室	地域住民誰でも 20名 PC:500円 手話:300円	60,000	10,000	50,000	50,000	0	10,000
障がい者支援事業 ティーサロン	地域住民誰でも なし お茶代実費	30,000	30,000	0	0	20,000	10,000
地域支援事業 まもり隊	地域住民 なし なし	10,000	10,000	0	0	0	10,000
男性のための料理教室	全回参加可能な男性 10名 500円	35,000	20,000	15,000	10,000	25,000	0
地域コミュニケーション講座	講座の内容により変わる 講座の内容により変わる 講座の内容により変わる	60,000	40,000	20,000	20,000	30,000	10,000
障がい者啓発講座	地域住民誰でも なし なし	60,000	60,000	0	42,000	10,000	8,000
中学生のボランティア講座	区内在住中学生 20名 なし	20,000	20,000	0	10,000	0	10,000
宮崎まつり	地域住民誰でも なし なし	150,000	150,000	0	0	100,000	50,000
お父さんの わくわく親子プラザ	未就園父子 15組 なし	30,000	30,000	0	20,000	0	10,000
異世代交流サロン ふれあい交流会	65歳以上の一人暮らし・日中独居 75歳以上の高齢者世帯 30名 なし	20,000	20,000	0	0	10,000	10,000
貸館利用者交流会	貸館利用者 なし なし	20,000	20,000	0	0	0	20,000
ボランティア交流会	当CPボランティア なし なし	20,000	20,000	0	0	0	20,000
		1,103,000	650,000	453,000	202,000	678,000	223,000

事業ごとに別紙に記載してください。

平成18年度 地域ケアプラザ資金収支予算内訳表

施設名：横浜市宮崎地域ケア

(自)平成18年4月1日
(至)平成19年3月31日

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	20,008	22,501				
	介護保険収入			5,648	4,460	72,641	13,352
	その他	0	0	0	0	1,230	0
	雑収入					1,210	
	受取利息等					20	
	収入合計(A)	20,008	22,501	5,648	4,460	73,871	13,352
支出	人件費	9,873	21,251	3,375	14,330	39,245	6,926
	事務費	623	350	804	483	5,637	995
	事業費	1,910	900		232	12,102	2,136
	管理費	7,108					
	その他	494	0	1,350	0	4,634	0
	消費税	494					
	経理区分繰入金支出					3,419	
	予備費その他等			1,350		1,215	
支出合計(B)	20,008	22,501	5,529	15,045	61,618	10,057	
収支 (A) - (B)		0	0	119	-10,585	12,253	3,295

(単位：千円)